

IASLC (International Association for the Study of Lung Cancer)に参加して

藤本 奈央子

2009年7月31日～8月4日に米国のサンフランシスコで開催された、**International Association for the Study of Lung Cancer (IASLC)**に参加させて頂きました。入局8年目にして初めての海外学会です。藤本公則先生、岩本先生、呼吸器外科の寺崎先生と4人で参加しました。

ちょうど東南先生がUCSFに留学されている時期と重なり、東南先生が空港まで車で迎えに来て頂けるとのこと。到着した初日は、東南先生の案内でサンフランシスコ市内の名所を見ることができました。ゴールデンゲートブリッジで岩本先生と2人で写してもらった写真は、帰国後に見たら「えっ!? 新婚旅行???'と勘違いされそうなほど仲睦まじい感じでした(笑)。夜は東南先生のご自宅で奥様の手料理やお刺身(サンフランシスコでも美味しい生魚が手に入るとのこと。ビックリしました)を御馳走になり、ビールやワイン(ファミリーサイズのボトルを含め、4本くらい空けたような…)、焼酎もかなり飲んでしまいました。

翌日、学会場に行き自分のe-posterを確認。発表に関しては、e-posterは締め切りが早いため、発表できなかったらどうしよう…とかなり慌てて準備をし、藤本先生に多大な迷惑をおかけしました。発表がちゃんとした形になっており「ホント、発表できて良かった～」と安堵のため息が出ました。学会では画像に関する発表の他、内科系・外科系の発表も色々見ることができて、沢山刺激を受けました。

しかし、発表に関し最大の難関が! 学会のプログラムを見たとき、e-posterはセッション毎に発表(?)があるとの記載を発見。口演じゃなくてposterなのに発表??? 聞いてないし、できないよ～(涙) 焦りました。でも、とりあえず会場には行かなくては。発表が始まって、最初のセッションの座長が1例1例の要約を話し出されたときはホント、ホッとしちゃいました。…が「えっ、質問はあるの? しかも、発表者が答えるの???' 私があまりにも泣きそうな顔をしてたんでしょね(笑)、質問があったときには藤本先生が答えて下さることに。幸い質問はなく、無事に終了しました。(藤本先生的には「自分も藤本です。でも、夫じゃないですよ」ってジョークを披露する機会がなく、残念だったのかも!?)

発表の合間に、東南先生の運転する車でナパバレーまで連れて行って頂き、opus oneという高級ワイナリーで1杯5000円の試飲もしちゃいました。う～ん、美味しいけど、値段が妥当なのか分からない…。天気も良く、最高のドライブ&ワイナリー巡りでした。

その他、サンフランシスコ名物のケーブルカーに乗ったり、美味しいシーフードを食べたり、大満足の初・海外学会でした。

このような学会参加の機会を与えて下さった、早瀬教授をはじめとする医局・同門の先生方に感謝致します。また、藤本先生のsupportなしでは発表できなかったと思います。本当にありがとうございます。